

医療介護関係者向け研修内容について

1 研修カリキュラム骨子

講義時間		主な内容	ねらい
60分～ 90分	第1部 ACPの基礎知識 について (オンデマンド) 講師：稲葉先生	① ACP の理念について	・ ACP の定義や ACP が展開されるようになるまでの変遷、DNAR との違い等を紹介し、ACP の理念や考え方について理解してもらう。
		② 意思決定に関連する法的な知識や臨床倫理について	ACP を実践するに当たって知っておくべき法的な動向や臨床倫理を理解してもらう。
		③ 意思決定支援に関するガイドラインを踏まえた ACP の進め方	・ 意思決定支援に関する各種ガイドラインを紹介し、本人の意思の尊重、意思決定能力への配慮、早期からの継続支援を踏まえた、ACP の記録、確認、振り返り方法を理解してもらう。
60～ 120分	第2部 現場における ACPの実践に向けて (オンライン講義)	ACPの事例紹介	・ 複数の事例から具体的な ACP の取り組み方を知り、現場での ACP の実践に活かしてもらう。

※ロールプレイについては、来年度以降に検討していき、今年度は事例等により具体的な ACP の実践方法を紹介することで現場での ACP の実践に活かしてもらう内容とする。

2 研修の実施方法

○ 令和2年度の実施は、Web開催とし実施

(1) 第1部 ACPの基礎知識について

- ・ 講義時間：60～90分
- ・ 配信形式：オンデマンド動画配信（事前聴講）

(2) 第2部 現場における ACP の実践に向けて

- ・ 講義時間：60～120分
- ・ 配信形式：Web会議アプリによるリアルタイム・オンライン講義
- ・ 講義形式：座談会形式

事例提供者から各事例について紹介いただき、座談会形式（2人～4人）で考察を行い、その様子を録画配信

3 第2部カリキュラムについて

(1) 事例に盛り込むべき要素 (第1回・第2回検討部会ででた主な意見)

- ① パターナリズムになりがちな医療提供者に対し、本人・家族の意思に沿った医療・ケアを提供する重要性について理解してもらえそうな内容を盛り込む。
- ② ACPを取り組むに当たって対応が難しい点や課題を解説し、その対応方法を提案する内容とする。
- ③ ACPを行う際の環境づくりや、対話の仕方など具体的な取組方法について、事例を通して説明する。また、事例の中に悪い例(多職種の大人数を前にすると本人が希望を言いづらい、無意識に誘導するような言葉遣いをしている等)を盛り込み、気を付ける事項として解説する。
- ④ 病院に通院又は入院する患者に対しACPを実施するタイミング
- ⑤ 認知症等で本人の意思決定能力評価が難しいケースの対応(意思の推定、代理決定者について)
- ⑥ 事前にACPを行っていた高齢者が新型コロナウイルス感染症の陽性者になった際の対応(入院や人工呼吸器の装着について)
- ⑦ 口から食べられなくなった際の対応
- ⑧ 医療提供者の方針と本人・家族の意向が沿わない場合の対応

(2) 事例テーマ(案)

ア 在宅療養における事例【2事例程度】

- ・ 独居／非がん
- ・ 同居／がん(緩和ケア)

イ 病院内における事例【2事例程度】

- ・ 非がん(老衰・認知症、誤嚥性肺炎で入院)
- ・ 医療提供者の方針と本人や家族の意向が沿わない場合の事例

4 第3回の検討事項

(1) 実施方法について意見交換

(2) 第2部のカリキュラムに関する意見交換

事例に盛り込む要素及び事例テーマを踏まえ、第2部で紹介する事例について意見交換

(3) 事例提供者について意見交換

各事例の提供者及び第2部登壇者に関する意見交換

5 研修の実施に向けて

(1) 研修日程について

医療介護関係者向け研修は、2月(予定)にオンライン講義の実施を予定しております。第3回部会終了後、講師及び登壇者の方宛てに研修の日程調整に関する御連絡をさせていただきます。

(2) 講義資料について

研修講師及び登壇者の方におかれましては、第4回部会(12月開催予定)に向け、**【12月9日(水曜日)】**までに講義資料の作成をお願いいたします。